

社会人入学について

社会人特別選抜

本研究科では、多様なバックグラウンドを有する人材を受け入れることを目的として、社会人特別選抜を実施しています。
社会人特別選抜は、小論文・面接試験および出願書類を総合的に評価して行います。

教育訓練給付制度

本研究科は厚生労働大臣指定の教育訓練給付制度（一般教育訓練給付）の対象です。必要な申請を行うと学費の一部が給付されます。
教育訓練給付制度の詳細につきましては、厚生労働省またはハローワークのホームページでご確認ください。

奨学金制度・入学金免除制度

本大学院は各種奨学金制度を整え、経済的理由により進学が困難な場合でも学修をサポートします。

新潟青陵大学奨学金制度

■ 親子奨学金

- 利用できる方：新潟青陵大学または新潟青陵大学短期大学部卒業生の実子である者
- 奨学金：大学院入学金半額相当額を給付

※入学後に所定の手続き用紙および戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）を提出してください。
※給付時期は、2025年6月下旬を予定しています。

■ 兄弟姉妹等奨学金

- 利用できる方：大学院入学者の実子または兄弟姉妹が、新潟青陵大学または新潟青陵大学短期大学部の卒業生または在学生である者
- 奨学金：大学院入学金全額相当額を給付
実子または兄弟姉妹が新潟青陵大学または新潟青陵大学短期大学部に同一期間在学する場合は、
下位学年に在学する者の同一在学期間中、半期ごとに10万円を給付

※入学後に所定の手続き用紙および戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）を提出してください。
※給付時期は、入学金全額分は2025年6月下旬、半期ごとの10万円分は2025年6月・11月（2回）を予定しています。

■ 新潟青陵大学大学院進学奨学金

- 利用できる方：新潟青陵大学を卒業後、新潟青陵大学大学院へ進学した者
- 奨学金：大学院入学金全額免除

※手続きは不要です。合格通知書類送付の際に、こちらから通知します。

その他の奨学金制度

■ 日本学生支援機構奨学金

第一種（無利子）と第二種（有利子）の種別があり、月額50,000円～150,000円の金額が貸与される奨学金制度です。
第一種には返還免除制度があります。

- 地方公共団体・民間育英団体の奨学金
- 国の教育ローン（日本政策金融公庫）
- 民間金融機関による教育ローン
- 学費サポートプラン（民間信販会社）

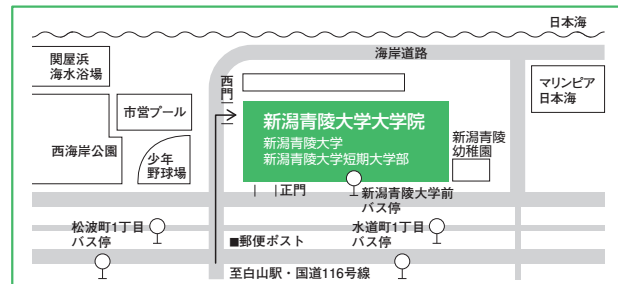
INFORMATION

『施設見学・個別相談』のご案内

本研究科ではキャンパスの雰囲気や学びの内容などをご理解いただくため、施設見学・個別相談を随時受け付けています。
ご希望がありましたら、事前にお電話・FAX・E-mailで入試広報課までお申し込みください。〈平日9:00～17:00〉

新潟青陵大学大学院 入試広報課

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地 TEL (025) 368-7411 FAX (025) 266-9642
URL <https://www.n-seiryu.ac.jp/> E-mail: pr4@n-seiryu.ac.jp

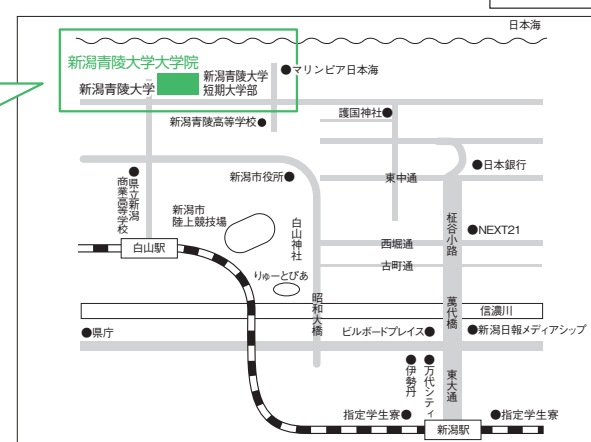


● 交通のご案内

- 新潟駅バスターミナルから「浜浦町線（新潟青陵大学前経由）水族館前ゆき」バスで約20分、新潟青陵大学前下車。または「浜浦町線（浜浦町経由）信濃町ゆき」「浜浦町線（浜浦町経由）西部営業所ゆき」バスで約20分、松波町1丁目下車、徒歩4分。
- JR越後線白山駅下車、徒歩15分。

● 新潟までのアクセス（新幹線/特急）

- 東京から約2時間
- 高崎から約1時間20分
- 長野から約2時間30分
- 富山から約2時間45分
- 郡山から約3時間



※本パンフレットの写真は、昨年度以前のものも使用しています。



公認心理師資格取得カリキュラム対応大学院
(公財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

新潟青陵大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF CLINICAL PSYCHOLOGY, NIIGATA SEIRYO UNIVERSITY

臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）

2025

心に寄り添い、心と向き合う。

実践を通して臨床感覚を磨き、 ひとの「こころ」に寄り添う心理臨床家を育成します。

現代の社会は人の多様なあり方を許容し、生き方の選択可能性が拡大しています。一方で、この社会は、自分自身がどのように存在すべきかを定めていくという側面を持っています。そのような中、「こころの専門家」への社会的ニーズは高まっており、2017年には公認心理師法が施行され、国家資格としての心理職が誕生しました。

それでは、「こころの専門家」とはどのような人を指すのでしょうか。こころの問題を抱える人に真に寄り添う心理臨床家になるには、どのような学修・訓練が必要なのでしょう。

本研究科は、臨床心理士・公認心理師の養成機関として、単なる有資格者ではなく、資格に能う心理臨床実践力を持った「こころの専門家」を育成していきたいと考えています。

人間存在そのもの、そして複数のこころが織りなす人間関係への関心を持ち、相談者とともこころの世界を深く探っていくためには、臨床心理学やその周辺領域に関する知識はもちろんのこと、その知識を活用して行うアセスメント(臨床心理査定)の力、来談者と適切な関係を築き共に話し合い歩む(臨床心理面接)力、来談者が生きる現実世界と適切に繋がり合う

(地域援助)力が必要です。また、臨床実践を省みて自分独自の理論を紡ぐ(調査・研究)力も育んでいかなければなりません。

本研究科では、様々な臨床現場での臨床実践経験を提供し、その経験を少人数制ならではのきめ細やかさでひとつひとつ振り返ることを通して、心理臨床実践力を身につけていくことに取り組んでいます。実践の場としては、本研究科付属の臨床心理センターを中心に、学園内こども園、精神科病院、児童福祉施設など、地域の多領域にわたる実習施設が用意されています。

本研究科が開設されて今年度で19年目となりました。150名を超す修了生の多くが、新潟県内を中心に全国で、臨床心理士・公認心理師として活躍し、本研究科にもよい刺激を届けてくれています。より研ぎ澄まされた実践を目指し心理臨床を語りあう仲間の一員としてあなたを迎え入れられますよう、ご入学をこころからお待ちしております。

臨床心理学研究科長 伊藤 真理子

臨床心理学研究科の教育研究上の理念・目的

教育目的

生命尊厳・人間尊重についての高い倫理性と、それを支える豊かな人間性を持ち、高度で専門的な機能を有し、創造性のある研究と臨床実践に意欲的に取り組む、地域社会の発展に寄与できる人材を育成する。

教育目標

- 各授業科目において個々の大学院生の実体験に基づく学びを重視し、単なる知識の習得ではなく、体験的な知識と倫理観を培う実践的教育と実践的研究指導を行う
- 地域との連携を重視し、他種・他領域との協働や研究成果の地域社会への還元を教育に取入れるカリキュラムを提供する
- 教員が臨床実践や臨床研究に精力的に携わり、常に教育内容の質的向上をめざすとともに、自ら技術向上をはかる姿勢を示す

- 取得できる学位:修士(臨床心理学)
Master of Clinical Psychology
- 専攻と学生数:臨床心理学専攻
Department of Clinical Psychology
入学定員/10人 収容定員/20人

- 修了要件 規定された在学期間中に、必修科目22単位、選択必修科目8単位以上、計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた後で、本研究科の行う修士論文の審査および修了試験に合格すること。
※資格取得のための単位修得要件とは異なります。

アドミッション・ポリシー〈入学受け入れ方針〉

- 臨床実践力及び研究実践力を育むために必要な学力と知識を身に付けている人
- 人間を理解・援助するための広い視野と柔軟性、他者と協働するためのコミュニケーション力を有する人
- 人間に対する深い関心と教養を有し、他者を尊重する態度を持つ人
- 臨床心理学領域において、自発的に課題を見出し、それを深めることのできる人
- 臨床心理援助の実践と研究の発展に貢献したい人

教員紹介／取得可能な受験資格

教員・研究キーワード

 伊藤 真理子 教授・研究科長 【公認心理師】 【臨床心理士】 ■ イメージを通じた心理療法 ■ 女性の生き方 ■ 教育・子育て支援と心理臨床	 碓井 真史 教授 ■ 動機づけ ■ 社会病理(自殺、犯罪等) ■ 学校臨床(スクールカウンセリング)
 本間 恵美子 教授 【公認心理師】 【臨床心理士】 ■ 対人不安 ■ 青年期の対人行動 ■ ひきこもりの子どもを持つ親	 浅田 剛正 教授 【臨床心理士】 ■ 臨床描画法 ■ イメージ・芸術療法 ■ スーパーヴィジョン
 引土 達雄 准教授 【公認心理師】 【臨床心理士】 ■ 社会的養護分野の調査と臨床 ■ 小児医療における子どもや親への心理的支援 ■ 子どもへの心理療法	 宮澤 淳滋 准教授 【公認心理師】 【臨床心理士】 ■ ユング心理学 ■ 病院臨床 ■ 青年期・成人期の心理療法
 小林 智 准教授 【公認心理師】 【臨床心理士】 ■ 家族療法 ■ 短期療法 ■ 不登校	 小林 大介 助教 【公認心理師】 【臨床心理士】 ■ 親密な関係における暴力(DV・ストーキング) ■ 家族関係・カップル関係 ■ 犯罪被害者支援
 本間 成恵 助手 【公認心理師】 ■ 保育者の困り感 ■ 子どもとのかかわり ■ 葛藤体験	

〈非常勤講師〉

講師名	現 職
横山 知行	新潟大学 教育研究院 人文社会科学系 教育学系 教授
大森 智恵	北心会 南青山心理相談室 心理士
榎谷 晶子	新潟青陵大学大学院 非常勤講師
中村 協子	新潟青陵大学大学院 非常勤講師
佐藤 亨	新潟青陵大学大学院 非常勤講師

講師名	現 職
村松 公美子	新潟青陵大学・短期大学部 保健管理センター長・特任教授
真壁 あさみ	福祉心理子ども学部 臨床心理学科 教授
宮崎 隆穂	短期大学部 幼児教育学科 教授
齋藤 智	短期大学部 人間総合学科 教授
関谷 昭吉	福祉心理子ども学部 臨床心理学科 准教授
齋藤 恵美	福祉心理子ども学部 臨床心理学科 准教授
新國 佳祐	福祉心理子ども学部 臨床心理学科 准教授

▶ 各教員の研究テーマや研究分野など、くわしい情報は「新潟青陵大学大学院」のウェブサイトをご覧ください。

新潟青陵大学大学院 教員

めざす資格

所定の単位を修得することで「公認心理師(国家資格)」と「臨床心理士(協会認定資格)」の受験資格を得ることができます。本研究科では、両資格の取得を目標とする教育を行っています。

公認心理師

心理職としてはじめての国家資格となる「公認心理師」は、心理学の専門的知識や技術を持ち、心理に関する支援を必要とする人や、その関係者の相談に応じて援助を行う専門職です。領域横断的な汎用性の高い資格で、医療、福祉、教育、司法・矯正、産業など、幅広い分野で活躍が期待されます。4年制大学で規定の科目単位を修得した方は、本研究科の所定の科目を履修し、単位を修得することで公認心理師の受験資格を得ることができます。

臨床心理士

臨床心理士とは臨床心理学の知識や技術を用いながら、こころの問題にアプローチする「こころの専門家」として(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格です。本大学院は修了後すぐに臨床心理士資格試験の受験資格を取得できる、新潟市で唯一の臨床心理士養成第1種指定大学院です。本研究科の教員や修了生は新潟県臨床心理士会において各種の委員会活動や研修活動など、様々な場面で活躍しています。

両試験ともに高い合格率

2022年度本大学院修了者の資格試験合格率は、臨床心理士資格試験では88.8%(全国平均66.5%※2023年度合格率)、公認心理師資格試験では100%(全国平均73.8%)と、高い合格率を得られています。今後も地域社会に貢献できる心理臨床家の養成をめざし両資格の取得を支援していきます。



学修の特徴／実習

多領域にわたる実習を通じて質の高い臨床感覚を養成します。

臨床心理センターでの心理臨床実践実習

ケースカンファレンスへの参加・事例発表 (1年次前期から2年次後期)

1年次前期から、守秘に配慮した上で実際の心理臨床場面に触れていきます。週1回行われるインテーク会議や月2回のケースカンファレンスへ参加し、実際の事例に多く接して、事例の見立てやクライアントへの関わり方について考えを深めていきます。2年次には自分が担当する事例を資料にまとめて発表することで、クライアントの病態や見立てに加え、面接のプロセス、心理臨床家の態度やそこで果たす役割に対する理解を深めます。カンファレンスには臨床心理士・公認心理師資格を持つ教員



全員が参加し、大学院生とともに様々な見地からの討議を行うので、多角的な視点を修得することができます。

心理面接の担当とスーパーヴィジョン※ (1年次後期から2年次後期)

臨床心理センターで複数の事例を担当します。一つひとつの事例に対してスーパーヴィジョン※の中で話し合うことでクライアントの状況や治療関係を総合的に見立て、心理療法を行う力をつけていきます。心理面接でのクライアントの言葉の意味や対応方法、保護者や職場、学校、医療機関などの連携方法などについて、細やかで具体的なアドバイスを得るなど、支えを得ながら心理面接を進めていくことができます。さらには



自分自身が持っている考え方、関わり方の癖も振り返りながら学んでいきます。

※スーパーヴィジョン：臨床心理的援助を行う専門家の活動に対する専門的助言および指導のこと。

心理検査の実施 (1年次後期から2年次後期)

臨床心理センターにおいて、ロールシャッハ・テストや描画法などの投射法検査や知能検査・質問紙などの心理検査を来談者に実施します。その検査結果からどのように来談者を理解するのか立体的な人格理解を学びます。また、検査目的や依頼者に応じてどのように検査報告書を作成するのか、さらに来談者にどのようにフィードバックを行うのかをスーパーヴィジョン※を通じて学び、テストバッテリーや総合的な心理アセスメントの力を磨きます。



地域の実習機関における学外実習

(1年次9月より見学実習／2年次前期より現場実習)

地域の医療・教育・福祉機関と連携し、学外実習の機会を提供しています。様々な現場で臨床経験を積むことで、支援方法や臨床現場の空気を学び、将来の職業観を育みます。

保健医療領域

病院臨床におけるコミュニケーションやアセスメント、病院内多職種連携についても学びます。

実習先：白根緑ヶ丘病院
河渡病院
松浜病院
田宮病院
南浜病院
とやのメンタルクリニック
新潟こころの発達クリニック

福祉領域

福祉的な課題や様々な障がいについて理解を深め、心理社会的な問題への地域支援についても考えます。

実習先：三条市子育て支援課
新潟県児童相談所
地域活動支援センター
母子生活支援施設

教育領域

学校外の教育相談機関における支援の実際を学びます。学齢期の子どもの臨床心理的課題を知り、関わり方やチーム支援について学びます。

実習先：新潟市教育相談センター

司法・犯罪領域

少年鑑別所の見学や心理検査体験実習などを通して、司法・犯罪領域における臨床心理的課題を知り、関わり方やチーム支援について学びます。

実習先：新潟少年鑑別所

産業・労働領域

再就労や復職へのメンタルヘルス支援を学びます。支援計画の策定や勤務先、医療・福祉との連携についても考えます。

実習先：新潟地域若者サポートステーション



学内で行われる基礎的実習

プレイセラピー実習 (1年次前期)

子どものこころは言葉や仕草だけでなく遊びにも表現されます。併設する新潟青陵幼稚園の園児とのプレイセラピー実習では、遊びの意味を考えることで子どものこころの理解を深め、その子らしくふるまえる場と関係性を作り出す力を育みます。



臨床心理査定実習 (1年次前期・後期)

1年次前期には、心理臨床の現場でよく用いられる質問紙・作業検査・知能検査を、後期にはロールシャッハ法を中心とした投射法を学び、事例を適切にアセスメントしていく力を養います。単に施行法を学ぶことにとどまらず、複数の事例に触れ、テストバッテリーの組み方、事例報告書の作成方法についても学びます。

臨床心理面接実習 (1年次後期)

試行カウンセリングや心理面接のロールプレイを通じて、クライアント理解を深め、自分の関わりを振り返ります。また、箱庭療法、コラージュ療法、集団心理療法などの心理面接技法を自ら体験しながら内面的な体験を感じ、言葉で表現する力を身につけます。



科目について

主な履修科目

公認心理師

資格取得に必要な主な科目

- ・心理実践実習Ⅰ
 - ・心理実践実習Ⅱ
- 計2科目

主な共通科目

- ・臨床心理査定演習Ⅰ
(心理的アセスメントに関する理論と実践)
 - ・家族・地域支援心理学特論
(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
- など、計10科目

臨床心理士

資格取得に必要な主な科目

- ・臨床心理学特論Ⅰ
 - ・臨床心理実習Ⅰ
- など、計16科目

修了要件科目(資格対応なし)：特定課題研究Ⅰ/特定課題研究Ⅱ 計2科目

大学院生 メッセージ



新潟青陵大学出身
臨床心理学研究科 2年
大泉 瑛未さん

学ぶほど面白い臨床心理学の世界を 個性豊かな先生方と学び、深めることができる

公認心理師と臨床心理士の資格を取得し、心理的援助を行う人材になるための知識や臨床実践力を身に付けたいと考え、本学を選びました。本学の魅力は、臨床心理士第一種指定大学院であることや、公認心理師の資格取得が可能なこと。特に臨床心理学における様々な領域の先生方による個別指導は、先生方との距離が近く非常に心強く感じました。また、実習を通して学生のうちから臨床経験を積み、実践者としての力を身に付ける機会の多さも決め手でした。特に印象的だったのは、心理検査を実施し、検査結果の所見を作成したことでした。その際に、検査の得点から分かることだけでなく、検査態度や課題に取り組む際の言動からも、その人の特徴を考える重要性を学びました。将来はこの貴重な経験をもとに、カウンセリングや心理検査を通して患者さんの話を聴き、特性を測るだけでなく、検査結果から日常生活場面での特徴を考えていく。そんな患者さんがより良く過ごせるような支援に繋がられる心理職を目指したいですね。

■修士課程2年生 週間スケジュール(前期)の一例

	月	火	水	木	金
1限			臨床地域支援特論	人格心理学特論	学校臨床心理学特論
2限	特定課題研究Ⅱ	心理実践実習Ⅱ		臨床心理センターインテーク会議	非行・犯罪心理学特論
3限			臨床心理実習Ⅰ	心理実践演習Ⅱ	
4限				臨床心理演習Ⅱ	

※講義演習のほかにも、臨床心理センターでの臨床心理業務、スーパーヴィジョンなどの実習や修士論文作成に取り組みます。

学修支援体制／施設紹介

経験豊富な教員による 実務的・専門的な指導のもと、 少人数教育を行います。

本研究科は、1学年10人総勢20人の定員に対して9人の専任教員が指導にあたります。教員の多くは豊富な経験を有する臨床心理士・公認心理師であり、地域を中心とする心理臨床活動に幅広く取り組んでいます。院生と教員の距離が近い少人数教育によって、学修面はもちろん就職面においても綿密な指導が可能です。

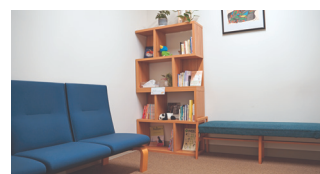


実践を通じて臨床感覚を養う「臨床心理センター」

臨床心理センターは、「大学院の研究・教育施設」とであるとともに「地域の方の相談の場」であり、一般の方々を対象に児童・青年・成人のこころの悩みについての相談活動・カウンセリングを行っています。院生は2年間で3-6件程度の事例を担当します。実際の事例を担当する場合は、教員のスーパーヴィジョンのもと、クライアントのこころをどのように捉え、援助するべきかを検討し、心理臨床への理解を深めます。近年、人のこころに寄り添い、こころの問題の解決や支援に取り組む「こころの専門家」に対するニーズは高く、コロナ禍による休室等もある中、2022年度には2044件の面接が実施されました。大学院修了後、臨床心理センターのケース担当や教員のスーパーヴィジョンを受けるなど臨床実践訓練を受けることができる臨床心理センター研修員制度が設けられています。



臨床心理センター 受付



臨床心理センター 待合室



相談室



プレイルーム

2年間の集大成として取り組む「修士論文」

臨床心理センターや外部機関で実践教育を受けるとともに、心理臨床家にとって必要不可欠な研究手法を学び、大学院修士課程2年間の集大成として修士論文の作成に取り組みます。テーマと研究手法は、基礎的な研究から応用的研究、社会問題に関わるものまで多岐にわたり、広い専門分野に携わる教員が在籍する本研究科ならではの特色と言えるでしょう。修士論文をまとめる過程では年に2回の発表会が開催され、院生や教員たちが論文の内容に関する白熱した議論を行います。修士論文を完成させるプロセスで、院生たちは自ら問題を見出し、掘り下げて考える姿勢を身につけます。

2023年度修士論文題目一覧

■介護職員との関わりが要介護高齢者の主観的幸福感に及ぼす影響 ―感謝感情の表出とコミュニケーションスキルに着目して― ■相談された重要な他者が持つ葛藤 ―回避・回避の軸に基づく検討― ■家族への世話が青年期における進路選択に及ぼす影響 ■第二反抗期の有無が精神的自立及び親子関係に与える影響について ■青年期における過剰適応傾向がセルフコンパッションを通して精神的健康に及ぼす影響 ■箱庭をとじるまでのプロセスの検討 ―最後の玩具に着目して― ■Twitterでネガティブツイートを発する際の発信者の動機と受け手への期待に関する調査研究 ■「よい子」傾向が攻撃的悪行行動に及ぼす影響 ―対面とSNS上の投稿に注目して― ■保育者の感情体験場面と葛藤の検討 ―受け入れがたい感情を巡って― ■風景構成法における「私感の生成プロセス」についての検討

施設紹介



図書館

約15万冊の書籍を所蔵する図書館があります。蔵書検索端末(OPAC)や、膨大な学術情報を検索できるデータベースなど、研究や学修に必要な情報をすばやく手にできるようサポートします。



講義室

3号館と6号館には大学院専用の講義室を設置。講義のほか様々な研究会や勉強会にも利用されています。AV機器も完備し、専門的な議論を行える環境を整えています。



大学院生研究室・研究生室

院生一人ひとりに専用の学習机、ロッカー、本棚を用意。貸与されるノートパソコンから無線LANに接続することも可能です。

修了後の進路

研究生制度

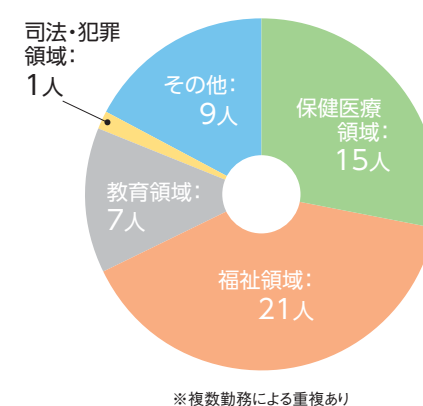
大学院修了後も、教員の指導を受けながら臨床心理センターでの臨床実践や研究に取り組むことのできる研究生制度があります。臨床心理士資格試験は大学院を修了して半年後に実施されるため、研究生になることで資格取得までの間も、じっくりと実践や学修に取り組むことが可能です。



就職実績

■修了後の進路

(2019年度～2023年度修了生:47人)



■これまでの修了生の勤務先(2019年度～2023年度修了生)

保健医療領域	会津西病院、まことクリニック、高田西城病院、田宮病院、新潟大学医歯学総合病院、古川記念病院、中越カウンセリングルーム、川室記念病院、新潟県職員、新潟こころの発達クリニック
福祉領域	新潟県職員、新潟市職員、柏崎市子ども未来部子どもの発達支援課、グローバルキッズパーク、児童養護施設米沢市興望館、ユニコーン、リタリコジュニア、Pastel Color、神奈川県横浜市職員、児童養護施設若草寮、いぶきサポート協会、放課後等デイサービスこぼんはうすくら、社会福祉法人緑成会米沢市立興望館、特定非営利活動法人With優
教育領域	新潟市西蒲区教育相談室、東京都大田区教育委員会、本学臨床心理学研究科助手、十日町市スクールカウンセラー、埼玉県三郷市教育委員会、柏崎市こころの相談支援課
司法・犯罪領域	国家(法務省専門職員)仙台矯正管区仙台少年鑑別所
その他	新潟薬科大学非常勤講師、本学臨床心理学研究科研究生、本学臨床心理センター研修員(敬称略)



修了生メッセージ 1

黒井 汐美さん(2019年度修了)
医療法人 崇徳会 田宮病院
(公認心理師・臨床心理士)

カウンセリング実習を通して複数の先生や クライアントと関わったことが大きな学びに

大学院修了時に臨床心理士の受験資格が得られるということもあり、青陵大学の大学院を選びました。内部進学なので、ゼミの先生に相談に乗っていただいたり、演習授業や修士論文執筆への協力で院生の先輩と関わる機会もあり、院生生活や研究活動についてイメージできたことも理由の一つです。

卒業後は田宮病院へ入職し、主に外来・入院患者さんへの心理検査やカウンセリングを担当しています。心に不調を抱える人を支えるため、多職種のスタッフや先輩心理師と協力・相談しながら取り組んでいます。患者さんから教わることも多く、人の心の奥深さを感じる日々です。今後も患者さんの一人ひとりについて、どんなことで力になれるかをさまざまな側面から考えられるようになりたいです。



修了生メッセージ 2

廣川 梓さん(2020年度修了)
新潟市立児童発達支援センター
(公認心理師・臨床心理士)

保護者支援を通してお子さんの成長と一緒に 喜びあえることにやりがいを感じています。

大学院では「不登校親の会」について研究を行い、子どもの支援と併せて保護者への支援の大切さを改めて実感しました。地元新潟市で児童やその保護者への相談や支援に携わることができ、嬉しく思っています。

大学院では、大学時代とは比べ物にならないほど、より深くこころを扱う体験ができました。セラピストとして、また一人の人間として、目の前のクライアントと接する姿勢や非言語で表されるものを汲み取る大切さ、心理検査の解釈などをじっくりと学ぶことができ、濃密な2年間を過ごしました。これらは、日々の業務へ活かされていると実感しています。

今後も積極的に学ぶ姿勢を忘れず、子どもの成長を保護者と一緒に喜ぶ中でお子さんへの理解や関わりを提案していき、市民の方々が安心して楽しい子育てができることを目指していきます。



※修了生の所属や取材内容は、すべて取材当時のものです。